

第3回 自然探訪教室 秋田県湯沢市方面

絶好の行楽日和となった10月29日、スタッフを含めた一行23名は川原毛地獄・小安峡大噴湯の自然と紅葉の素晴らしさを十分に堪能してきました。

参加者からは「川原毛地獄は、自然のすごさを感じ、青空と紅葉をバランスよく写真に収めました。小安峡は、階段がきつかったですが、眺めは良かったです。天気にも恵まれ、楽しく参加できて良かったです。ありがとうございました」「初めて訪れる美しい景色に感動しました。スタッフの方々の和気あいあいとした雰囲気が好きです。通行止め等、突然のアクシデントも笑いに変えて柔軟に対応していただき、すごく楽しい旅でした。今年3回参加することができて嬉しかったです。」などの感想をいただきました。来年も楽しみにお待ちしております。



○ 第15回花巻市老人クラブ連合クラブ大会

10月24日に花巻市文化会館で開催された標記大会に矢沢地区老連（齊藤建一会長）から20名が参加。永年の活動貢献により高木団地こぶし会の佐藤ソメさんがめでたく会長表彰を受けられました。

また、演芸部門の発表があり、矢沢地区老連を代表して高木第二明老会の踊りが披露され、今回から復活した文化祭にも矢沢地区老連会員の水彩画や写真が展示されました。



陶芸教室に楽しむ！文化祭出展めざし！！

明朗大学の10月講座は10月25日、台焼きの杉村峰秀先生を講師にお招きし矢沢振興センター講堂で陶芸教室が開かれました。冒頭杉村先生から使用する粘土についての講釈とお皿やぐい飲みを作る際の注意点の説明があり、昨年を上回る38名の受講生の皆さんは約1時間30分熱心に作品作りに励みました。杉村先生によると皆さんの作品の出来栄は素晴らしいものがあるとのことでした。



杉村先生の説明に熱心に聞き入る受講生の皆さん



本日の出来栄は我ながら最高！

◎ 矢沢地区地域福祉懇談会で討議

花巻市社会福祉協議会矢沢支部（佐藤智明支部長）では、東北福祉大学の森明人先生のご臨席のもと、10月18日に矢沢振興センター講堂で福祉懇談会を開催しました。社協担当の藤田育恵さんから矢沢地区住民福祉活動計画「矢沢ふくしのまちプラン」について説明があり、続いて各種団体から出席した28名を5班にグループ分けして、「地域の福祉を良くする3つの目標」の実現に向けて、各地区や団体で現在取り組んでいること、今後取り組みたいことを討議発表しました。森先生から、今後は今日の話し合いも参考にしながら企画委員会で具体化に向けて検討することとなるとの総括がありました。



挨拶する佐藤智明支部長と矢沢担当の藤田育恵さん

発表するやさわの園園長博林みず穂先生

胡四王史談会研修旅行（ご案内）

田野畑村三閉伊一揆・宮古崎山貝塚縄文の森見学

胡四王史談会（押切悟会長）では、矢沢地域振興会と共催で恒例となっている研修旅行を下記の行程で計画しました。胡四王史談会の会員及び一般の方も参加できますが、**先着 22名**で締め切らせていただきますのでご了解願います。【申込締切日：11月21日（木）】

- 期 日：令和6年11月28日（木）
- 参加費：2,000円（昼食代、入館料等）
- 行 程：矢沢振興センター集合：8時20分
 矢沢振興センター出発 8：30⇒東和 IC⇒10：00 山田 IC～道の駅トイレ休憩 10：15 発⇒山田 IC⇒田野畑 IC⇒田野畑村民俗資料館見学⇒11：50 発～道の駅田野畑（昼食）⇒12：50 発⇒田野畑 IC⇒宮古北 IC⇒崎山貝塚縄文の森見学⇒14：00 発⇒宮古北 IC⇒山田 IC～道の駅（トイレ休憩）山田 IC⇒東和 IC⇒矢沢振興センター16：50 着

交通事故防止啓発活動 胡四王地区の高齢者宅を訪問



交通安全協会矢沢分会（大森松司分会長）と母の会（高橋純子会長）では、10月19日に役員 15名が参加して交通事故防止啓発活動を行いました。矢沢行政区の胡四王地区 50名の高齢者宅を訪問し、チラシや啓発グッズを手渡し、交通安全を呼びかけました。



「くれぐれも事故にはご注意ください！」

ハロウィン 10月30日に振興センターへ 着飾ったママこども保育園園児



0歳児5名を含む園児18名と先生7名が矢沢振興センターに中島振興会会長を訪問

◎ 歴史講座のご案内 「島善鄰の生涯について」

明瞭大学の12月講座は胡四王史談会と共催で歴史講座を行います。内容は今年没後60周年を迎えた矢沢ゆかりのリンゴの神様島善鄰博士について「島善鄰先生を偲ぶ会」代表の阿部弥之さんを講師にお迎えしてご講演をいただきます。会員の方はもちろん一般の方のご来場も大歓迎です。



8月末に島善鄰顕彰碑（堰袋）前で行われる「遺徳を偲ぶ島善鄰碑前祭」の様相

期日：12月9日（月）10時～
会場：矢沢振興センター大広間

【事務局員のつぶやき】（晩秋は時雨の時期でもあります！）

地球温暖化の影響等により、日本を含む中緯度地帯を中心に大気全体の温度は高くなり、日本特有の四季の移ろいやそれに伴う情緒も昔とは大分感じが違ってきているようです。そうはいつても季節は進み晩秋から初冬にかけて、晴れたかと思うとまた曇り、曇ったかと思うとまた晴れるという空模様の時、降っては直ぐ止むような対流性の雨が時雨（しぐれ）です。北西の季節風が吹くとき、日本海上で発生した積雲が次々と日本海側に達すると時雨が降り、雲が去るとまた晴れる。積雲は季節風に流され山を越え、山あいを通り抜け、日本海側と太平洋側の中間地帯の盆地に達して時雨を降らせませす。

時雨の時期が過ぎ、気温がさらに下がると、あられが屋根を激しく打つようになります。あられの音は冬の訪れを告げます。あられには氷あられと雪あられとがあり、いずれも主に積乱雲から降ります。

いずれにしても寒さは体に応えます。ほどほどの寒さ・雪の冬をしい冬の予報が出されていますが・・・さてどうなりますか？



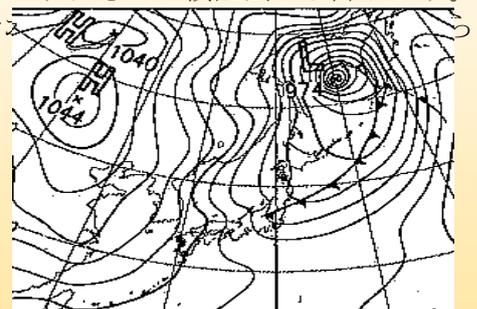
氷あられ

直径 5mm未満の透明または半透明の氷の粒。球形または円錐形 気温 0度以上。直径 5mm以上は「ひょう」



雪あられ

直径約 2～5mmの白色の不透明な氷の粒。球状または円錐状。気温 0度以下。



時雨時の天気図（西高東低の冬型）
令和5年11月24日地上天気図
盛岡の降水量 3.5ミリ、日照 2.5時間